

教科 教科	観点 (課題と思われる観点到)		児童の実態及び課題	授業改善に向けての具体的な方策	方策に対する検証
国語	知識及び技能	言葉	・音読をする際に、言葉のまとまりで、読む力。 ・読書をすすんでしようとする姿勢。	・一単位時間の中で、音読する時間を必ず取り入れる。 ・教師による読み聞かせを日常的に行う。 ・毎週の図書の時間に本を2冊借りるようにする。	・個別の単元の音読テストを行い、9割以上の児童が合格できるようになる。 ・2学期の間に、読書記録カードへの記録 30 冊以上を8割以上の児童が達成する。
		情報			
		言語			
	思考力・判断力・表現力等	話・聞			
		書く			
		読む			
	学びに向かう力・人間性等				
算数	知識及び技能	数計	・ひき算の文章問題「ちがいはいくつ」の問題を読み取って、式に表すこと。	・文章題を読んだ後、問題文の式に使う数字やたし算・引き算のキーワードに線を引く。 ・ブロック等の具体物操作や図で理解を促す。 ・授業の終末(5～10分程度)に、1人1台端末の学習アプリを活用し、苦手な部分を克服できるようにする。	・9割以上の児童が、ワークテストや確認テストで90%以上できるようになる。
		図形			
		測定			
	思考力・判断力・表現力等	数計			
		測定			
		データの活用			
	学びに向かう力・人間性等				

教科	観点 (課題と思われる観点に○)		児童の実態及び課題	授業改善に向けての具体的な方策	方策に対する検証
国語	知識及び技能	言葉	・既習の漢字を文章中で正しく読んだり書いたりすること。	・定期的に漢字のミニテストを行うことで、定着を図る。間違え直しも徹底して行い、正しく読み書きできるようにする。	・漢字ミニテストで90～100点を9割以上の児童が達成する。
		情報			
		言語			
	思考力・判断力・表現力等	話・聞	・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係についての理解すること。	・メモを取って話を聞くなど、情報を整理する機会を増やしていく。グループ学習で、考えを交流して共通点や相違点を考える活動を取り入れる。	・学期に1度行う話す・聞くのテストで、90～100点を9割以上の児童が達成する。
		書く			
		読む			
	学びに向かう力・人間性等		・話し手が知らせたいことを落とさないように聞く力や、話し手の話に関心を持ち質問する力。	・朝の会でスピーチを取り入れ、話の内容を捉えて感想を伝え合う活動を毎日行うことで、相手の話を最後まで注意深く聞ける力を育てる。 ・生活や体育の学習活動の中でも、話し手の方に体を向けて、知らせたいことを落とさないように粘り強く聞くことができるようにする。話し方に強弱をつけて、同じことを繰り返し伝えなくても、一回で理解できるようにする。	・スピーチでの質疑応答が、学年末にはスムーズにできるようになっている。
算数	知識及び技能	数計	・使われている色板の枚数から形を選ぶなど、形に関する理解。	・図形の学習では、具体物を操作する活動を多く取り入れ、図形を構成する要素に着目して捉える力を養う。棒や色板を用いて、数学的活動をしていく。	・単元のワークテストで正答率90%以上を9割の児童が達成する。
		図形			
		測定			
	思考力・判断力・表現力等	数計	・長さ、水のかさ、時間を正しく測定したり求めたり、単位を正しく使ったりすること。	・測定などの活動を通して、長さやかさの単位の意味と的確に表現する力を養う。時計も日頃から読む習慣を付け、時刻・時間の求め方を考える力を養う。	・9割の児童が東京ベーシックドリルや日々の練習問題で、2回目までには全問正解にすることができる。
		測定			
		データの活用			
	学びに向かう力・人間性等		・絵グラフに色を塗ったり、グラフから数を読み取ったりする力。	・グラフや表を読み取る活動を、算数のみならず、生活科で調べごとがある時などでも取り入れていく。データを整理する観点に着目できるようにする。	

教科	観点 (課題と思われる観点に○)		児童の実態及び課題	授業改善に向けての具体的な方策	方策に対する検証
国語	知識及び技能	言葉	・全領域で全国平均を上回っている。 ・筆順を意識して漢字を書くこと。 ・伝えたいことを明確に伝える力。	・1人1台端末を活用し、デジタルドリルで漢字の筆順を確かめながら、漢字を書く練習をする。 ・授業の中で例文の文章構造を確認し、大切な点を押さえる。	・学習プリントで、8割の児童が、正しい筆順で漢字を書くことができる。 ・8割の児童が、書く単元のまとめの際に、教科書の例文を参考にし、自分の考えを文章にまとめることができる。
		情報			
		言語			
	思考力・判断力・表現力等	話・聞			
		書く			
	読む				
学びに向かう力・人間性等					
社会	知識及び技能		・資料を読み取ること。	・資料の読み取りのポイントを毎時間押さえ、必要な情報を正確に読み取れるようにする。	・9割の児童が資料の読み取りを正確に行い、テストで正答する。
	思考力・判断力・表現力等				
	学びに向かう力・人間性等				
算数	知識及び技能	数計	・データの活用を除く3領域で全国平均を上回っている。 ・全国平均よりは高いものの、図形の正答率は7割を下回っている。	・東京ベーシック・ドリルと毎日計算の中で単位の換算や分数の問題に取り組む。 ・算数用語をおさえながら、円や三角形をかく練習をする。 ・資料の中から必要な情報を探す活動に日常的に取り組む。	・8割の児童が東京ベーシック・ドリルの診断テストで問題に正答する。 ・8割の児童が算数用語を正しく使い、テストで正答する。
		図形			
		測定			
	思考力・判断力・表現力等	数計			
		測定			
	データの活用				
学びに向かう力・人間性等					
理科	知識及び技能		・理科の用語を正しく使うこと。	・用語を正確に使えるように、発言に気を付けたり、ノートに正しく書けているか確認したりする。	・9割5分の児童がテストで用語を正しく使い正答することができる。
	思考力・判断力・表現力等				
	学びに向かう力・人間性等				

教科	観点 (課題と思われる観点到)		児童の実態及び課題	授業改善に向けての具体的な方策	方策に対する検証
国語	知識及び技能	言葉	・ 既習漢字の定着。 ・ 自分の考えを明確にして文章に表すこと。	・ 漢字練習に加え、ドリルの音読、デジタルドリルでの学習を行い、テストを繰り返し行っていく。 ・ 何を書くかの視点を与え、自分の考えを書く練習を繰り返して行う。	・ 漢字テスト 90%を 8 割の児童が達成する。 ・ 物語文や説明文の読解において、正答率が 90%を 8 割の児童が達成する。
		情報			
		言語			
	思考力・判断力・表現力等	話・聞			
		書く			
		読む			
	学びに向かう力・人間性等				
社会	知識及び技能		・ 方位を用いて地形の様子を読み取ったり、表現したりすることや方位の定着。	・ 授業などで出てきた資料などを活用して、地形の様子を方位を用いて表現する練習を行う。	・ ミニテストを行い、90%を 8 割の児童が達成する。
	思考力・判断力・表現力等				
	学びに向かう力・人間性等				
算数	知識及び技能	数計	・ 3 桁の繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのあるひき算を正確に解くこと。 ・ あまりのあるわり算あまりありや口を使った文章題を解くこと。	・ 朝学習の時間にミライシートや 10 問プリントを行う。個別の課題に対しては、デジタルドリルを活用して、自分の苦手を克服できるよう、選んで学習する。 ・ 文章題は立式するだけでなく、出した答えについて説明する場面や理由を書く活動を学習の中で取り入れていくようにする。	・ 単元のワークテストで 85 %以上を 9 割の児童が達成する。 ・ 8 割の児童が、式と言葉の式を結び付けて考え、ノートに書くことができる。
		図形			
		変化と関係			
	思考力・判断力・表現力等	数計			
		変化と関係			
		データの活用			
	学びに向かう力・人間性等				
理科	知識及び技能		・ 全体的にできているが、予想を立てるときに、理由や根拠を日常生活での既有体験や既習事項をもとに表現すること。	・ 予想の書き方を確認しながら、理由や根拠を書けるようにしていく。書けない児童には、例を示し、次の学習につながるようにしていく。	・ 単元のワークテストで、90%以上を 8 割の児童が達成する。
	思考力・判断力・表現力等				
	学びに向かう力・人間性等				

教科	観点 (課題と思われる観点到○)		児童の実態及び課題	授業改善に向けての具体的な方策	方策に対する検証
国語	知識及び技能	言葉	・漢字の学習に課題がある。 ・指定された文字数で文章を書いたり、段落の役割について理解して2段落構成で文章を書いたりすることに課題がある。	・漢字の成り立ちや意味を意識した指導を行い、ノートをとるときも平仮名でなく、漢字で書くよう促す。 ・国語の物語文や説明文の読解において、主語、述語を意識させ、文字数を指定した上で要約する活動を取り入れる。	・漢字小テスト行い、正答率70%以上を8割の児童が達成する。 ・国語の物語文や説明文の読解において、正答率が90%を8割の児童が達成する。
		情報			
		言語			
	思考力・判断力・表現力等	話・聞			
		書く			
		読む			
学びに向かう力・人間性等					
社会	知識及び技能		・明治用水ができる前の地域の様子について、複数の資料をもとに考え表現することに課題がある。 ・地域産業の発展のための取組について、資料をもとに判断することに課題がある。	・資料を読み取る活動を充実させる。視点を示し、話し合う機会を設ける。 ・2つ以上の資料から読み取り、関連付けて考える活動を毎単元で取り入れる。 ・授業終末時に、学んだ用語を使ってまとめや振り返りを書く活動を取り入れる。	・ワークテストの正答率80%以上を7割の児童が達成する。 ・8割の児童がノートやワークシートに、キーワードを使って分かったことのまとめや振り返りを表現できる。
	思考力・判断力・表現力等				
	学びに向かう力・人間性等				
算数	知識及び技能	数計	・分数の計算や計算のきまりなどを8割ほどの児童が理解している。 ・伴って変わる2つの数量の関係を式に表すことに課題がある。 ・「基準量と比較量から求めた割合を比較して、どちらがよくのびたのか」、「三角定規を組み合わせてできる角の大きさの求め方」の説明をすること。	・立式する際、数直線や図を使って説明し合う活動を学習の中で取り入れる。 ・考えを説明する話型を示し、少人数のグループの中で説明する学習を取り入れる。	・単元末ワークテストの思考・判断の正答率70%以上を7割の児童が達成する。 ・単元末ワークテストの知識・理解の正答率80%以上を8割の児童が達成する。
		図形			
		変化と関係			
	思考力・判断力・表現力等	数計			
		変化と関係			
		データの活用			
学びに向かう人間性等					
理科	知識及び技能		・気温のはかり方や星座早見の使い方など、実験・観察の方法に関わる知識及び技能。 ・閉じ込めた空気を押し縮めたときの手ごたえについて理解し、体積や力の大きさについての表現すること。	・発問を通して、実験操作の手順と意味を考え、全体で話し合い、共有する。 ・空気や水溶液など、粒子の領域の単元では、流体の特性を粒子で捉える考え方を促す。	・単元末ワークテストで知識・技能の正答率90%以上を8割の児童が達成する。 ・考察活動において、科学的な見方・考え方ができている児童を価値づけ、8割の児童が、科学的な見方・考え方で考えようとする態度をもてるようにする。
	思考力・判断力・表現力等				
	学びに向かう力・人間性等				

教科	観点 (課題と思われる観点に○)		児童の実態及び課題	授業改善に向けての具体的な方策	方策に対する検証
国語	知識及び技能	言葉	・第5学年で学習した漢字の習得。 ・資料から読み取った事実を正確に文章に書くこと、自らの意見とその理由を明確にして書くこと。	・国語科授業の開始時等に、既習漢字の読み取りテスト（5問程度）を実施し、習得を図る。 ・昼学習の作文の時間や国語科の説明的文章教材を活用し、筆者の考えを整理するとともに、その考えに対する共通点、差異点を視点として自分の考えを書く活動を取り入れる。	・単元末ワークテストで知識・技能の正答率 80%以上を7割の児童が達成する。 ・昼学習で行う作文では5W1Hを基に7割の児童が作成できるようにする。 ・単元末ワークテストで文字数を指示された問題における正答率が80%を7割の児童が達成する。
		情報			
		言語			
	思考力・判断力・表現力等	話・聞			
	書く				
	読む				
学びに向かう力・人間性等					
社会	知識及び技能		・季節風、さまざまなメディアの特徴、自動車の製造工程についての理解すること。 ・情報の発信と受信の注意点について考えること。 ・日本の食料生産や自然環境に対する取組について、適切な資料を判断すること。	・学習問題をたてる時や予想をする時に既習事項に触れ、既習内容を振り返るとともに、知識の定着を図る。 ・学んだ用語を用いて、まとめを書く活動を取り入れる。 ・資料の読み取り方について揭示し、資料から読み取った事柄を話し合う活動を学習の中に取り入れる。	・単元末ワークテストで知識・技能の正答率 80%以上を7割の児童が達成する。 ・単元末ワークテストで思考・判断・表現の正答率 80%以上を7割の児童が達成する。
	思考力・判断力・表現力等				
	学びに向かう力・人間性等				
算数	知識及び技能	数計	・三角形の内角の和を基に、五角形の内角の和の求め方を表した式を選択すること。 ・円周の長さを求める式の理解すること。 ・基準量と比較量から割合を求めること。	・既習事項を揭示し、学習を振り返られるようにするとともに、どのように課題を解決することができるのかクラス全体で共有する。 ・式だけではなく、数直線や図、表などから基準量と比較量、割合を視覚的に理解できるようにする。また、児童の考え方を共有する時間を十分に設け、学習に向かえるようにする。	・単元末ワークテストで正答率 90%以上を8割の児童が達成する。 ・単元末ワークテストで思考・判断・表現の正答率 90%以上を8割の児童が達成する。
		図形			
		変化と関係			
	思考力・判断力・表現力等	数計			
	変化と関係				
	データの活用				
学びに向かう力・人間性等					
理科	知識及び技能		・温度によって水の状態が変化するということを理解し、水の蒸発と関連付けて説明すること。 ・水の温度による体積変化の仕方を理解し、海面水位の上昇と関連付けて説明すること。	・単元の終末では、新たに学んだことを児童自らの言葉で振り返る時間を設け、知識、理解の習得を促す。 ・単元の系統性を踏まえた既習事項の振り返りを学習過程のあらゆる場面で行い、学習内容と既習事項を関連付けて考えられるようにする。	・知識・技能領域の単元末ワークテストで正答率 90%以上を8割の児童が達成する。 ・ノート指導の中で、科学的な見方・考え方ができている児童を価値づけ、8割の児童が、科学的な見方・考え方で考えようとする意識をもてるようにする。
	思考力・判断力・表現力等				
	学びに向かう力・人間性等				